

## 川嶋一生議員の一般質問

私たち付託を受けた者の役目は執行部をしすることも議員の役目ですが、自己満足的な批判からは何も生み出されず、対案や修正案を持って初めて議論が成立し、何をすべきかを判断することができるのであり、これをやらずして市民の付託に答えているとは私は恥ずかしくて言えません。・・・

現状の議会としてまた議会人としてごく当然の事が皆できているのか、私は疑問を感じます。思想を押し通すために市民に都合のいい情報だけを切り取って流し、聞こえの良い情報を元に不安をあおるだけあおり、市民の皆さまを混乱させていることを作りだす方がいないかと言っているのです。

例えば、新庁舎の議論では、耐震補強でわずか4億円と強調し、松坂市は耐震化を4億円でできたという情報が広められました。いかに都合のいい情報だけ切り取って流されて、市民を混乱させたのか、金額だけ安価であれば、私も含め誰だって安い方を選択しますが、これが正しい情報の議論とは全く言えず、無理な議論と言わざるを得ません。

4月の市長選挙で配られていた公職選挙法で認められた正式な選挙運動用のビラにも各務原市の困った現状として「税金のムダ遣いが止まりません」「市民の声に耳を傾けていません」「法令違反なんてへっちゃら」「市議会とのなれ合い」のように書かれたビラがありました。発した内容に責任を持つのは当然であり、市民の皆さまには議論のベースとなる正しい情報を流すのが当然であると言っているのです。

そこで、2期目に入った浅野市長にお聞きします。現在様々な情報が流布される中、時には誤った情報を元に個人批判される場面も見うけられますが、15万市民をけん引していく立場の市長として、誤った情報や都合のいい情報だけを切り取って市政を批判される現状に関してどう考えるか。市長の各務原市への想いをお聞かせ下さい。

## 浅野健司市長の答弁

先ず最初にひとこと言わしていただきたいことがございます。私も選挙期間中相手候補のビラに関しまして、市民の皆さまから色々な情報が寄せられました。また、いろいろな確認の問い合わせも耳に入ってきました。しかし私はこれらの誤った情報、偏った情報について一つひとつ答えませんでしたし、当然争点にもしませんでした。なぜなら、有権者の市民の皆さま方が一番聞きたかったことはこれからの各務原市をどうするのか、どうなるのかであったからだと私は思いました。そして、私が訴えたかったことも各務原市の将来に向けたビジョンであるからです。私はひとりの候補者として、熱意と、信念、将来に責任を持った政策を実直に訴えさせていただきました。これが私の政治家としてのスタンスです。

それでは答弁に入ります。

・・・・・・・・中略

民主主義はいろんな主義主張がある。しかし誤った情報、あるいは恣意的に取捨選択した情報を市民の皆さまに届けることは、市民の皆さまをミスリードし不安をあおり、結果として市政の混乱や停滞、市民の皆さまの幸せを損なうこととなります。これでは市民の皆さまの付託を受けた者として責務を全うすることはできません。この町の未来は、市民の皆さま、市を取り巻く様々な皆さまとの対話と通して共に作り、共に育てていくものであります。私は対話とは市民の皆さまと膝を突き合わせ、市民の皆様の本音を伺い、様々な思いを掘り起こす事から始まると考えております。様々なお立場、想い、様々な主義主張、まぎれもない本音を謙虚に受け止め、お互いに認め合ったり、歩み寄ったりしながら一歩ずつ前に進んでまいりたいと考えています。そのためにも、私は誠実に丁寧に様々な情報を市民の皆さまにお伝えし対話の土台を気づいてまいります。地に足を付けた建設的な対話の積み重ねこそが、10年、20年先の未来に繋がるものと信じ、地道に実直に市政に取り組んでいきます。

続きまして2点目・・・・・・・・中略

### 3つのビジョン

最後にもう一言だけ言わせていただきます。私は市長であると共に家庭に帰れば一人の父親です。先週、この日曜日、市議会議員の皆さまにもご観覧を頂きました各務原市消防操法大会におきまして、私の市長としての姿、そして父親としての姿を多感な年頃になる娘に見せました。家族と過ごす時間が少ない私ではありますがこの日は大切な娘に父親としての背中を感じ取ってもらったと思っています。

そんな娘ではありますが、先日学校で「あなたのお父さんはルールを破って悪いことをしているの」と友人から言われたそうであります。娘は選挙期間中に1日学校を休んでいます。相手候補のビラに関しての事はわかりません。この言葉を聞いて皆さんはどう思われるでしょう。そして何を想像されるでしょう。当然事実無根でありますので、「そんなことは無いよ」と娘に答えました。娘を不安にさせたことに対して父親として本当に悲しい気持ちになりました。

川嶋議員とは同級生、そして付き合いも長く、私の性格も知って見えるでしょう。あまり怒る方ではありません。市長として市民の皆さまの安全安心を守ることは私の大切な使命であります。そして父親として家族を守ることも私の大切な使命であります。家族を守れないような人間が市民の安全安心を守れるはずがありません。誤った情報で家族に危害が及ぶなら私は絶対に許さない。断固として戦います。このビラをまかれた方々にも大切なご家族があるはずです。誹謗中傷からは何も生まれません。皆さんはどちらでありたいですか。大切な子ども達に、勝つためなら、事をなすためなら、何をやっても、嘘をついてもいいよということを教える。あるいは、堂々と継承できる各務原市を更に作り育てあげられるよう各務原市の将来に向けたビジョンについて正々堂々と大いに政策をぶつけ合うのか、私は後者であり続けたいと思います。というよりあり続けます。今後は是非大局的な議論をしようではありませんか。